



## 2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社アスタリスク 上場取引所 東  
 コード番号 6522 URL https://asx.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 規之  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括室長 (氏名) 山本 和矢 (TEL) 050-5838-7864  
 四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期第1四半期の連結業績(2023年9月1日~2023年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	293	△7.4	△119	—	△91	—	△78	—
2023年8月期第1四半期	316	△56.8	△51	—	△40	—	△35	—

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 △73百万円(—%) 2023年8月期第1四半期 △30百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	△11.01	—
2023年8月期第1四半期	△4.99	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	2,779	1,861	67.0
2023年8月期	2,719	1,934	71.2

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 1,861百万円 2023年8月期 1,934百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,207	39.0	11	—	9	—	0	—	0.06
通期	2,645	50.3	100	—	96	—	67	—	9.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年8月期1Q	7,109,400株	2023年8月期	7,109,400株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年8月期1Q	一株	2023年8月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年8月期1Q	7,109,400株	2023年8月期1Q	7,055,400株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年9月1日~2023年11月30日)における我が国経済は、景気が緩やかに回復しているものの、世界的なエネルギー価格や原材料価格の高騰傾向は未だ収束の見通しが立っておりません。また、為替相場における円安の進行、物価の変動状況や日銀の金融政策の行方について先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、「事業計画及び成長可能性に関する事項について記載した書面」に記載のとおり、次の成長戦略を実行しております。

## (既存主力事業)

スマートフォン装着型リーダーの優位性をお客様に伝え、専用機等からの移行を図っております。

また、RFIDについて更なる拡販を企画しております。

## (新製品の開発/販売)

当社会社で運営する「こがね製麺 草津栗東店」にて、顔認証技術や人追跡技術、重量センサーを組み合わせたセミセルフレジシステムを、実店舗運営をしながら実証実験を行っております。

## (営業力の強化)

大手キャリア様との協業体制を強化し、継続して案件の御紹介をいただいております。

また営業支援体制の整備やWEBマーケティング施策を実施しております。

## (海外展開)

当第1四半期連結会計期間においては、新規の大口納入はなかったものの、様々なお客様と商談を進めております。

以上の取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高293,346千円(前年同期比7.4%減)、営業損失119,553千円、(前年同期は51,596千円の営業損失)、経常損失91,769千円、(前年同期は40,134千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失78,266千円(前年同期は35,188千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (AsReader事業)

AsReader事業の連結売上高は224,485千円(前年同期比11.6%増)、セグメント損失は84,025千円(前年同期は23,074千円のセグメント損失)となりました。当社主力商品である「AsReader」の販売では、国内向けでは、自動販売機業界、物流業界、医療業界への販売がありました。海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありました。一方で、顔認証レジ関連の新製品の開発及び実証店舗の開店に関する費用や、棚卸資産の評価損の計上の影響などにより、大幅なセグメント損失を計上する結果となりました。

## (システムインテグレーション事業)

システムインテグレーション事業の連結売上高は65,856千円(前年同期比43.0%減)、セグメント損失は1,301千円(前年同期は18,345千円のセグメント利益)となりました。物流業界向け、小売業界向け、医療業界向けなどのシステム開発の納入、製造業界、小売業界、食品業界の受注がありましたが、一部案件において進捗の遅れの発生、不採算案件に関して受注損失引当金を計上したため、セグメント損失を計上する結果となりました。

## (賃貸事業)

2023年8月期第2四半期連結会計期間に竣工したAsTech Osaka Buildingの建設地が大阪市の定める特別用途地区(中高層階住居専用地区)に該当することから、2023年2月より7階~9階の3フロアを住居として賃貸しております。

2024年8月期第1四半期末において入居率は100%となっており、賃貸事業の連結売上高は3,005千円、セグメント利益は585千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、2,779,632千円となり、前連結会計年度末の2,719,298千円と比べ、60,334千円の増加となりました。主な要因は、商品及び製品の増加131,426千円、現金及び預金の減少18,253千円、売掛金及び契約資産の減少55,441千円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、918,483千円となり、前連結会計年度末の784,393千円と比べ134,090千円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の増加200,000千円、受注損失引当金の増加13,452千円、未払法人税等の減少16,331千円、賞与引当金の減少29,613千円、買掛金の減少32,461千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,861,148千円となり、前連結会計年度末の1,934,904千円と比べ73,756千円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少78,266千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2023年10月13日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	251,715	233,461
売掛金及び契約資産	267,541	212,100
商品及び製品	646,343	777,769
原材料及び貯蔵品	33,332	46,184
未収還付法人税等	67,441	69,668
その他	121,882	118,509
貸倒引当金	△3,222	△3,547
流動資産合計	1,385,034	1,454,146
固定資産		
有形固定資産		
建物	484,953	484,953
減価償却累計額	△6,466	△8,890
建物(純額)	478,487	476,062
建物附属設備	166,821	166,821
減価償却累計額	△8,000	△11,127
建物附属設備(純額)	158,820	155,693
構築物	18,101	18,651
減価償却累計額	△609	△884
構築物(純額)	17,492	17,767
車両運搬具	641	641
減価償却累計額	△641	△641
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	187,550	192,636
減価償却累計額	△143,449	△151,804
工具、器具及び備品(純額)	44,100	40,831
土地	292,589	292,589
有形固定資産合計	991,490	982,944
無形固定資産	36,649	40,821
投資その他の資産		
投資有価証券	205,250	205,250
その他	101,228	96,825
貸倒引当金	△355	△355
投資その他の資産合計	306,123	301,720
固定資産合計	1,334,263	1,325,486
資産合計	2,719,298	2,779,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	129,468	97,006
短期借入金	460,000	660,000
未払法人税等	21,395	5,064
賞与引当金	53,036	23,423
製品保証引当金	9,036	7,340
受注損失引当金	1,765	15,217
その他	108,047	108,789
流動負債合計	782,750	916,840
固定負債		
資産除去債務	1,643	1,643
固定負債合計	1,643	1,643
負債合計	784,393	918,483
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	804,937	804,937
資本剰余金	794,937	794,937
利益剰余金	331,562	253,295
株主資本合計	1,931,437	1,853,170
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,467	7,977
その他の包括利益累計額合計	3,467	7,977
純資産合計	1,934,904	1,861,148
負債純資産合計	2,719,298	2,779,632

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	316,766	293,346
売上原価	217,700	239,051
売上総利益	99,066	54,295
販売費及び一般管理費	150,662	173,848
営業損失(△)	△51,596	△119,553
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	43
為替差益	10,630	27,154
雑収入	823	1,951
営業外収益合計	11,462	29,150
営業外費用		
支払利息	—	689
貸倒引当金繰入額	—	677
営業外費用合計	—	1,366
経常損失(△)	△40,134	△91,769
特別利益		
補助金収入	2,016	9
特別利益合計	2,016	9
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,118	△91,759
法人税、住民税及び事業税	△1,987	△18,836
法人税等調整額	△942	5,342
法人税等合計	△2,929	△13,493
四半期純損失(△)	△35,188	△78,266
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,188	△78,266

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純損失(△)	△35,188	△78,266
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,342	4,510
その他の包括利益合計	4,342	4,510
四半期包括利益	△30,845	△73,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,845	△73,756
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。